

桜環境新聞

サマースクール2022

エコから始まる自由研究

小学生のみなさん、まもなく夏休みです！

今年はこの機会を、地域の自然や文化、エネルギーについて考え、行動してみる一歩してみませんか。

①夏休み生きもの自由研究相談会

身近な自然や環境をテーマに自由研究をする小学生の相談に応じます。

②はじめよう！エコ・クッキング

東京ガスによる親子で学ぶエコな料理の体験メニューです。

③シーオそだて隊「七夕馬作り」

旧暦の七夕(今年は4日)に合わせて、七夕馬作り「シーオ(SEE O)」にちなんで、エコな素材を使った七夕飾り「七夕馬」を作ります。

④「七ツ馬(たなばたうま)作り」

旧暦の七夕に合わせ、ピオトプ「シーオ(SEE O)」に生えるマコモを使い、さいたま市の伝統的な七夕飾り「七ツ馬」を作ります。

⑤「マコモがとてもしい匂いだった」と声を聞いた2019年以来、3年ぶりのリアル開催となります。

⑥「GWはエコと家族の日」ホームページに掲載した「SEE O(シーオ)ネイチャー&3Rクイズ」から一部を掲載します。

⑦「か②を選んでね！」

⑧「スマホを買い替えた。古い方は…」

⑨「そのまま燃えないごみに捨てた。」

⑩「初期化して、桜環境センターの小型家電回収ボックスに入れた。」

⑪「使い終わった虫よけスプレーの缶を…」

⑫「資源物に出した。」

⑬「有害危険ごみに出した。」

⑭「答えは裏面をご覧ください。もっと楽しみたい方はこちらから。」



桜環境センターのサマースクール 2022

エコから始まる自由研究

今年3つの講座で、地域の自然や文化、エネルギーについて、自分でできるように考えたり、作ったりします。この機会を、暮らしに「エコ」を取り入れる一歩にしてみませんか。

7月6日(水)10:00~7日(木)順次電話にて受付(先着順) 参加費は無料です

自由研究

さいたま市桜環境センター (環境啓発施設2階アクトセンター)

の個別相談に応じます。

昨年の参加者からは、「親だともまく教えられないことも多いので助かりました」「子どもの意外な一面を知りました」「こんな小さな疑問を自由研究にしていいの不安だったけど、計画を作ってやれる」と自信ができました」との声をいただきました。

①日時：7月23日(土)、24日(日) 各日9時半~10時半 / 11時半~各回30分。1コマ1組限定。計6コマ

②日時：7月23日(土)、24日(日) 各日10:00~11:30 各回30分。計6コマ。1コマ1組限定。計6コマ

③日時：7月28日(木) 10時~11時半

④日時：7月28日(木) 10時~12時

⑤日時：8月3日(水) 10時~12時

⑥対象：小学生以上(小学生は保護者必須、※イネ科アレルギーが無い方)

⑦定員：6組(1組5名以内)

⑧申込：7月6日(水)10時~7日(木)に、電話で環境啓発施設アクトセンター(048-710-5345)まで

⑨参加費：無料

⑩詳細はこちら

⑪QRコード

⑫公式HP

⑬お問い合わせ先

⑭Eメール

⑮Twitter

⑯Facebook

⑰Instagram

⑱ホームページ

⑲お問い合わせ先

⑳Eメール

㉑Twitter

㉒Facebook

さいたま市 桜環境センター

〒338-0834 埼玉県さいたま市桜区新開4-2-1 (月曜休館)

【環境啓発施設】 Tel:048-710-5345

【余熱体験施設】 Tel:048-710-5344

【施設見学・持込・その他】 Tel:048-710-6010

【ホームページ】 <https://sakura-kc.saitama.jp/>

環境啓発施設 公式SNSアカウント

Facebook Instagram

環境啓発施設 E-mail sakura@com-sup.com



七夕馬

「マコモがとてもしい匂いだった」と声を聞いた2019年以来、3年ぶりのリアル開催となります。

①日時：7月23日(土)、24日(日) 各日9時半~10時半 / 11時半~各回30分。1コマ1組限定。計6コマ

②日時：7月23日(土)、24日(日) 各日10:00~11:30 各回30分。計6コマ。1コマ1組限定。計6コマ

③日時：7月28日(木) 10時~11時半

④日時：7月28日(木) 10時~12時

⑤日時：8月3日(水) 10時~12時

⑥対象：小学生以上(小学生は保護者必須、※イネ科アレルギーが無い方)

⑦定員：6組(1組5名以内)

⑧申込：7月6日(水)10時~7日(木)に、電話で環境啓発施設アクトセンター(048-710-5345)まで

⑨参加費：無料

⑩詳細はこちら

エコクイズに挑戦!!

「GWはエコと家族の日」ホームページに掲載した「SEE O(シーオ)ネイチャー&3Rクイズ」から一部を掲載します。

①か②を選んでね!

Q1 スマホを買い替えた。古い方は...

①そのまま燃えないごみに捨てた。

②初期化して、桜環境センターの小型家電回収ボックスに入れた。

Q2 使い終わった虫よけスプレーの缶を...

①資源物に出した。

②有害危険ごみに出した。

答えは裏面をご覧ください。もっと楽しみたい方はこちらから。




温風至

「7月7~11日頃」

あつかぜいたる

この時節前後に梅雨明けし、その後、暖かく湿った南風が吹きます。この頃に吹く風を「白南風(しろはえ)」と呼びます。


雲間から差し込む日差しが強くなり、気温も一気に上がりますので、体に気をつけてお過ごしください。

余熱体験施設のレストランのみ利用の無料時間が90分まで延長になりました! ※以降は入館料が発生します。

レストラン [菜土~sait~] 営業時間 ● 10:00~14:30 (ラストオーダー 14:15)

フードドライブ

ご家庭に余っている食品はありませんか? フードパントリーにつなぎ、必要な方にお届けします! ※寄付の際は、事前に【048-710-5345】までご連絡ください。



「ジーオそだて隊」 田植えを行いました



田植え作業

6月5日(日)に田植えを行いました。4月に種まきをし、20cmほど成長した苗を、ビオトープ「ジーオ」の生きもののために植え付けました。「しるしに合わせ植えよう」「ヤゴがい」と、賑やかに作業は

進みました。

この先、8月頃には穂が出る出穂(しゅつすい)を迎えます。イネの成長に伴い、田んぼで出会える生きものも変化していきます。

8月21日(日) 9時半〜10時半には、「真夏の生きもの調査」を開催(当日先着20名)。今後もジーオのイネの姿や、そこで出会う生きものたちに、ご注目ください。

- 持ちもの…虫取り網、虫カゴ、軍手、水筒、スタンブカード(2回目以降の方)
- 服装…動きやすい長袖長ズボン、帽子

エコクイズの答え

Q1② 区役所、公民館、図書館などに設置されている黄色の小型家電回収ボックスに入れます。個人情報削除を忘れないで。販売店などで回収して



Q2② 使い切ったら透明な袋に入れて、有害危険ごみへ。もし、中身が残っている場合は、袋に「中身あり」と貼り紙を付けて、空のものとして出してしてください。



桜環境センターの利用団体紹介

さくら布ぞうりの会

古布から生まれる心地よさ

「さくら布ぞうりの会」

は、毎月1回、桜環境センターに集まって作品を作っています。2018年に桜環境センターで開催された布ぞうりの講座がきっかけで、会が生まれました。

思い出の古布をかたちに

布ぞうりは、ゆかたやTシャツなど衣服の生地を活かすことで、その服に残る

思い出と一緒に編み込めるそうです。古いものを活用できて、思い出も残って、ごみも減らされると注目されています。

代表の岩田明子さんは、

作ったものを寄付するだけでなく、障がいのある人の作業施設などに作り方を教えたことを考えています。作ったものをもらうよりも、自分で作る楽しさを知っています。



てもらいたいからです。布ぞうりは大人から子どもまで、どの年代でも使えるのが魅力です。

いっそう交流を広げたい

「おしゃべりしながら楽しく手仕事をしています。手と口両方動かすと体にも心にもいいですし、思い出の布も活かされます。皆さん、お気軽にご参加ください」と岩田さん。多世代の交流の場として、健康にも環境にもやさしいエコな活動を続けています。

● さくら布ぞうりの会を、より詳しく紹介しているHPはこちらから。



知っているようで知らない

【ごみの正しい出し方】

フタ

「フタ」の分別が2021年4月から変わったことを知っていますか？

ペットボトルのフタは、以前はペットボトル本体と同じ袋に入れていましたが、現在は本体は「ペットボトル」、フタはラベルとともに「食品包装プラスチック(プラ資源)」として回収しています。



びん・かんのフタも、以前は本体と同じ袋に入れていましたが、現在は本体のみ「びん」「かん」として回収しています。

プラスチック製のフタで、プラマークのあるものはプラ資源、ないものは「もえるごみ」へ。びんの金属製などのフタは「もえないごみ」に出し、かんの金属製のフタのみ、かんと一緒に出してください。

